

平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

1. 調査研究テーマ

(ア) 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究

2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

(1) アドバイザー訪問施設数（熊本市除く）（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
11/50			0/21			1/18			5/425		0/3		0/0		0/274
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
0/1	11/21	0/28	0/0	0/0	0/21	0/0	0/0	1/18	3/101	2/324	0/0	0/3	0/0	0/0	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	

※アドバイザー配置人数：3人

※アドバイザーの最終経歴：公立幼稚園長経験者、公立幼稚園教頭経験者、公立保育所園長経験者

(2) センターの設置：

- ・設置年度：検討中
- ・設置形態：－

3. 成果

(1) アウトプット

体制の構築について

- ・ 3名の幼児教育アドバイザーを委嘱し、熊本県内（熊本市を除く）17園（県央4園、県北6園、県南7園）に派遣。

- ・ 主な派遣実施内容

保育参観による指導・助言

園内研修の指導・助言

幼・保等、小、中連携支援 ※幼・保等の「等」には、認定こども園、地域型事業所も含む

保護者会等の支援

- ・ 調査研究実行委員会（熊本県就学前教育振興「かがやけ！肥後っ子」会議

目的：熊本県就学前教育振興「肥後っ子かがやきプラン」の具現化をはじめ、「幼児教育の推進体制構築事業」など、就学前教育に関する意見を広く聴取し、就学前教育の充実・振興に資する。

対象者：以下の団体、機関から選出された委員（15名）及び関係課（社会教育課、特別支援教育課、私学振興課、子ども未来課）

学識経験者、市町村教育委員会、幼稚園（国公立幼稚園会、私立幼稚園連合会）、保育所（熊本県保育協会、熊本県保育協議会）、社会教育団体（熊本県子ども会連合会）、保護者（幼稚園、保育所、小中学校）、学校（小学校、中学校）、教育事務所、児童相談所、家庭教育サポーター、県民の代表

- ・ 私立幼稚園を所管する私学振興課、保育所・認定こども園を所管する子ども未来課と連

No. 29 熊本県教育委員会

携し幼児教育アドバイザー派遣について周知等を行う体制ができた。

- ・ 園内研修時間確保や代替職員の配置に苦慮されている本県の現状から、園の要望や園の実情にあった勤務形態で派遣することができた。(夜・土曜日派遣)

(2) アウトカム

- ・ 熊本県就学前教育振興「かがやけ！肥後っ子」会議における主な意見
園の実情に応じた柔軟な派遣及び勤務形態をとれるようにする。(学識経験者代表)
啓発資料について、さらに工夫を図るべきである。(学識経験者代表)
県の就学前教育振興プランとの連動性を図った取組とする。(児童相談所代表)
- ・ 平成 28 年熊本地震により、園所等において施設被害の復旧や幼児・保護者・職員の心のケアが最優先であった。本事業の実施により心のケアなどの支援を必要とする幼児や保護者へのサポートについて共有し、危機管理や防災教育等についての園内研修を行うことができた。
- ・ 本事業において、幼児教育アドバイザーを派遣した園同士で公開保育が行われるなど、園内研修の活性化が図られ、市町単位での合同研修へ発展した事例もあった。教員・保育士が学び合う機会をもつことで幼児教育の質の向上を図る等、本県の課題に対する機運を高めるきっかけの一つとなった。
- ・ 幼児教育アドバイザーを保護者会の講師として活用したり、各園の保護者対応への助言や関係機関とつないだりするなど、保護者支援の充実が図られた。

4. 上記を含めた、平成 29 年度の実施計画

(1) 園への派遣

- ・ 幼児教育アドバイザーを活用した園内研修等の在り方の研究
- ・ アドバイザー 3 名を義務教育課に配置し、1 年間で 3 期にわけ、継続かつ単発な支援を行う。
- ・ 派遣園数：継続 18 園（1 園につき 6 時間勤務で 12 回）、単発 18 園（1 回につき 3～6 時間勤務）熊本県内（熊本市を含む）認定こども園、幼稚園、保育所等に派遣。

(2) 幼児教育アドバイザーの育成

- ・ 年間 8 回の義務教育課への勤務等により、園内研修や指導・助言の内容、方法等について研修を行い、幼児教育アドバイザーとしての育成や指導改善を図る。
※具体的内容：研修の内容や実施方法等について、多様なニーズに応じた研修の企画立案について、「新 肥後っ子かがやきプラン」と連動した研修の企画について

(3) 園内研修の評価

- ・ 研修成果の評価
- ・ 園所等の実態等の情報収集

(4) 幼児教育アドバイザー活用による園内研修ガイドブックの作成準備

- ・ 幼児教育アドバイザー派遣における成果と課題の把握

幼児教育アドバイザー派遣事業

目的: 幼児教育アドバイザーを配置することにより、県内の認定こども園・幼稚園・保育所等を巡回して教育・保育内容等についての指導・助言等を行い、幼児教育の質の向上を図る。

幼児教育アドバイザーを希望する認定こども園・幼稚園・保育所等

申請

本事業の計画・実施・成果等については、「かがやけ！肥後っ子」会議にて意見を聴取する

熊本県教育庁教育指導局義務教育課
幼児教育アドバイザー3名配置

子ども未来課・私学振興課等と連携した周知及び推進

派遣

認定こども園・幼稚園・保育所等(年間27園)

1期(6・7・8月)
2期(9・10・11月)
3期(12・1・2月)



1園につき
9回の派遣

幼児教育の質向上のための活用例

① 幼児・保護者への対応や環境構成等の指導・助言
○ 保育参観等により幼児や保護者への対応の仕方について指導・助言
○ 園の教育・保育目標達成のための教育・保育計画、指導方法、環境構成等について指導・助言

② 園内研修の指導・助言
○ 園内研修の計画、実施方法等について指導・助言
○ 園内研修の講師としての活用

③ 幼・保等小中連携や保護者会等の支援
○ 幼・保等小中連携、近隣の認定こども園・幼稚園・保育所等の連携についての支援
○ 連携協議会等への講師としての活用
○ 保護者会等の講師としての活用
○ 保護者への支援についての指導・助言